

各直轄道場で新年初会

立教90年に向けて、より一層の精進を誓う

1 月 5 日、各直轄道場で新年初会が盛大に開催され、参加者は新春を祝うとともに、立教 90 年を翌年に控え、新たな目標に向かってより一層精進努力することを誓い合った。

本部道場



晴天に恵まれた道場には、350 名以上の会員が参集した。まずは、本部役員が御神前に整列し、代表して渡辺孝彦理事長が新年のご挨拶。拝礼行事に続いて、新法主さまより二代目就任のご挨拶を頂いた。講話では渡辺理事長が、「修験実証」について述べ、太陽のようにあたたかく、思いやりの心と言葉と態度で相手を慈しむ心を作っていくことを示され、最後に万歳三唱をもって終了した。

御霊地道場



穏やかな冬の陽が注ぐ中、岡野英夫顧問が出講のもと新年を祝った。講話では、「今年は新法主さまを迎え、世界も大きな変化の中にある。難しさが伴うが、既成概念を取り払い、独りではなく皆で協力し合って支え合っていかなければならない」と新年の抱負を述べ、更なる団結を呼びかけた。最後に万歳三唱をもって終了し、中庭にて祝いのお神酒が振舞われた。

札幌道場



年末の大雪が残った当日は、穏やかな天候のもと、めでたく新年初会が執り行われた。木村正則常任理事を筆頭に、安達武寿布教本部長、教区役員らが御神前に整列し、本部役員挨拶の後、国歌及び年の始めの歌を心を合わせて斉唱した。木村指導員の講話では、今月のみさとしについて学んだ。最後に終礼行事、万歳三唱。終了後は鏡開きが行われ、楽しいひと時を過ごした。

湘南道場



村上説常任理事が本部出講、神奈川、静岡両教区の会員が集い新年を祝した。まず御神前正面に村上指導員はじめ本部役員、両教区役員が整列し、全員で新年の挨拶を交わした後、村上指導員が役員を代表して挨拶を述べた。続いて、村上指導員がみ教えを家庭の中心に据えて感謝の生活を実践する大切さを講話した後、万歳三唱を行い一年の精進をお互いに誓い合った。

中部道場



晴天に恵まれる中、開催され、役員紹介の後、本部より出講の村山正幸常任理事が役員を代表し、新年の挨拶を述べた。村山指導員より本部活動方針と今月のみさとしを中心に学んだ。参加者一同、修験実証を心に誓い、村山指導員の発声の元、万歳三唱で閉会となった。

関西道場



約 300 人の参加があり、まず津村英雄相談役、早川廣美常任理事、和田雅夫理事、中元敏彦道場長が御神前に立ち、新年の挨拶を交わした。早川指導員の講話では、「皆様は、解脱金剛宝塔を身近に仰ぐ聖地を頂いております。この恵まれた環境のもと、学びを深め立教 90 年に向かって一層精進させていただこう」と激励があった。直会ではお神酒等を頂きながら、新年を寿ぎ歓談した。

元旦祭

新年を迎え新法主さまがご挨拶

青空清く、雲一つない晴天に恵まれた元日の御霊地に、全国の会員代表が集う中、太神社殿前にて午前 11 時より元旦祭が執り行われた。

国歌斉唱の後、新法主さまは祝詞の中で、この年を良い年とするよう、本部役員はもとより全国解脱会員また北本市民の皆様に至るまで、生業

に勤しみ励み、感謝報恩の実践行に励んでいくことを奏上された。

法主さま、長老さま、渡辺孝

彦理事長に対し新年の挨拶を行った後、法主さまは、本日をもって解脱会二代目法主となられたことを発表。法主としてのお役目に精進努力することをお誓いされた。

続いて渡辺理事長は、「奉祝立教 90 年を 1 年後に控えた大切な年、新法主さま、長老さまをいただいた喜ばしい契機」と述べ、ご自身の信念と

新年のご挨拶をされる法主さま

する、「すべてに対する“和”を大切にして、皆の力を結集し、立教 90 年、100 年に向かって元気で幸せに過ごしてほしい」と激励した。

式典後、会場は正月飾りや宝船を売る青年部の威勢の良い声が響く中、参加者は温かい五色うどんやお汁粉、お神酒を頂きながら新年の挨拶を交わし合った。



成人式・青年初講座(初ブロック青年会)

1月8日、各地で晴れやかに新成人を祝福



23 名の新成人者が参加した東京ブロックは、本部道場で開催。350 名以上の参加者から祝福を受けながら新成人者が入場。出講の西村晴雄教務局長が、大人の責任と自覚を促す祝辞を贈った。「ア・ニバーサリータイム」では、代表 2 組の新成人者親子が感謝と御礼の手紙を読み合い交換した。



神神ブロックは湘南道場で開催され、新成人者 4 名が参加。当日は新成人の曇りない未来を予感させるような快晴に恵まれた。午前は出講の堀精二道場長の祝辞と新成人者代表の小河聖さん(神奈川県平塚支部)の謝辞などで厳かに進み、午後は乾杯で始まり、楽しい「出し物」で盛り上がった。



関西ブロックは関西道場にて開催。出講の中元敏彦道場長による祝辞の後、20 年前の時事問題や当時の流行曲からクイズ大会で盛り上がり、講座後にはおしるこが振舞われ、爆笑いなどもあり、関西らしく笑いの中で成人者を祝福した。



御霊地道場で開催した北関東ブロックでは、新成人者の野口聡士さん、金子晃大さん、田中晃司さんを温かい拍手で迎えた後、出講の宮原秀治青年本部部長からお祝いの言葉が贈られた。その後、太神社殿へ正式参拝、新成人者は太神様への玉串奉奠に緊張の面持ちで臨んでいた。



5 名の新成人者が参加した中部ブロックでは、山本英次新道場長よりお祝いの言葉が贈られた後、名古屋中田支部の中島弘貴さんが代表して謝辞。続いて、笑いあり涙ありの新成人者の「二十歳の約束」が発表された後、新成人者の親による愛情の溢れた手紙に会場は感動に包まれた。



西日本ブロックでは、香川多度津支部を会場に、ブロック青年会参加者 32 名が新成人 2 名の新たな門出を祝った。出講の藤原了本部監事より心に残る祝辞の後、新成人代表から「両親への感謝を忘れず社会に貢献できる人間になりたい」と力強い決意発表があり、大人の第一歩を踏み出した。

御寺泉涌寺・天機奉伺

新年のご挨拶にお立ち寄り

1 月 18 日、御寺泉涌寺、上村貞郎長老猊下は、藤田浩哉寺務長、渡邊恭章執事、高橋有周主事補を伴われ、天機奉伺のため東上され、皇居と各宮家に新年の挨拶回りをされた。

ご一行は、午前皇居、常陸宮邸をご訪問され、正午に本部道場にお立ち寄りになり、渡辺孝彦理事長と岡野英夫顧問、宮島喜逸相談役と新年の



挨拶を交わされた。

その後、ご一行は東宮御所、秋篠宮邸と回られた。

また 1 月 4 日には、仲田順和醍醐寺座主猊下が新年のご挨拶にお越しになった。

天皇誕生祝賀式

陛下 83 歳のお誕生日を寿ぐ



今上陛下が 83 歳の聖寿を迎えられた 12 月 23 日、本部道場において天皇誕生祝賀式が行われ、長老さまをはじめ本部役員、本部職員、一般会員らが集った。

午前 9 時、朝礼に続いて国歌斉唱、拝礼行事の後、長老さまより奉祝の辞があり、聖

寿の万歳と御皇室の弥栄を祈念して、万歳三唱が行われた。

その後、一行は皇居に向かい、参列者の人数が 3 万 8 千人余りと、平成で最多となった一般参賀に参列＝写真。

長和殿のベランダに立たれた天皇陛下に対し、万歳をもってお祝いを申し上げた。

立教 90 年記念事業

新棟の地鎮祭行われる

1 月 11 日、立教 90 年記念事業となる別館跡地に建設する新棟の地鎮祭が行われた。

穏やかな晴天のもと、鮮やかな青白幕と紅白幕が張られた大型テントの中に祭壇が設けられ、長老さま、渡辺孝彦理事長はじめ、建設委員や、施工会社となる丸和工業・矢部利人社長他、関係業者が参列した。

式典は午前 10 時に始ま

り、祝詞奏上や工事の安全宣言があり、地鎮の儀では、渡辺理事長が忌鎌＝写真右下、廣川貞雄前建設委員長が忌鉤、矢部社長が忌鋤を行った。最後は土地の天茶供養を行い、滞りなく地鎮祭が終了した。

新棟については、敷地約 200 坪に鉄筋 2 階建ての建物と駐車場があり、建物 1 階には、大倉庫と詰所、作業所。2 階は広い多目的スペースと和室が 3 つ、そしてトイレとユ



ニットバスがあり、研修会や宿泊も可能だ。

新棟の完成は春季大祭後を予定している。



平成 29・30 年度 本部役員等一覧

【参 与】

古姓 敏雄
坂崎 愈
内藤 裕
山本 功
猪子 勝
田島三秋子
大熊 芳郎
小林タマ子
沖津 善子
松下みち子
後藤 隆一
鈴木 彰
西澤 周
廣瀬 武雄
中村貴和子

野土谷セイ子
多治見 寛
土屋 瑞夫
蜂須賀淑元
小澤 留雄
熊田 昭
藤倉 健雄
井野口勝昭
石田 正義
武蔵 豊
若井 信宏
西村久仁子
野本 祥二
増田 幸造
井上 宗弘
矢嶋 章八

福原 忍
鈴木 知
宮崎 和美
館岡ひろみ
仲佐 正
中津川尚一
浮田 巖
伊豫田丈夫
小澤 勝
原 総一郎
横山 一恵
佐々木高志
井上 建二
加藤 明
杉崎 将
山崎 秀子

【理事参与】

岡野 成高
瀧 久和
斎藤 辰巳
桑原 康彰
渡辺 碩克
宮崎 修
西村 武
小池 裕
嶋田 清和
安江 敏
品川 順一
谷島 隆
上原 功
平木 敏勝
森 純一
田中 尚郎

柳澤 賢治
磯崎 利夫
飯塚 弘二
外木 寿一
藤原 誠介
上田 久雄
源川 勝巳
市瀬 博貴
中元 敏彦
水谷 健吾
西村 重夫
山田 一元
吉田 直之
小林 和子
倉橋源四郎
清水 浩三
山田 盛和
福田 實
近藤 貞男

白井 正男
佐々木 勉
増田 勝範
小椋 一衛
廣瀬 充幸
阪田 嘉彦
宮崎 武志
日比 正光
奥出 信夫
仲佐 久代
【専門員】
杉本 龍之
【布教本部長】
瀧 久和
井上 公郎
倉田 正治
倉上 利夫
安達 武寿
三浦 純

武井 達郎
山本 吉朗
今庄 康裕
【地区相談役】
永井 賢悟
小泉 博文
田邊 立身
磯崎 崇
椎野 光雄
萩原 徳治
富永 和雅
寺澤 亮一
森近 洋治
杉崎 宗人
【本部教務員】
上島きこ子
杉山 眞子
下田祐紀夫
内田 孝道

野口 善洋
宮原 秀治
武市 万苗
倉橋 一美
須藤 満子
岩田 始
木崎 成博
中江 サチ
小出 和子
関 僚子
杉山 昌光
堀川 剛史
浅見 和正
田村 和彦
西脇 武利
野瀬志津江
福澤 文雄
田邊 洋一
柴山 秀一

皆川 朋子
黒宮 律子
三屋 眞一
齋藤 安彦
西田 義信
柴田 正美
吉岡 正博
大西 和子
島田 眞吾
植田 郁代
重實 廣美
重森 静子
池松 康博
佐藤 昭二

※地区相談役以降は教区順になっています。

解脱鍊心館

新年祈願祭・寒稽古が行われる

1 月 8 日午前 10 時より、御霊地・太神社殿前にて、田中宏明館長(御霊地局長)はじめ、解脱鍊心館の役員、門下生とその保護者らが参列する中、新年祈願祭が厳粛に執り行われ、本年の躍進と稽古の

安全が祈願された。

その後、解脱鍊心館に移動し、門下生は威勢の良い掛け声とともに初振りを行った。

田中館長は新年の挨拶で、

「般若心経の中の“眼耳鼻舌身意”を六根といい、それを清めることが大切」とし、「六根清淨は、正しく見て、正しく聞いて、正しい呼吸と正しい姿勢によって正しい心、正しい行いができる。剣道も六根を鍛えることが大事。



正しい心で一年間頑張ろう」と門下生たちを激励した。

その後は、鍊心館後援会有志によるお汁粉が振舞われ、終了となった。

寒稽古は翌 9 日より、午前は 5 時半～7 時、午後は 4 時～5 時半の 2 部に分かれ、28 日まで 3 週間行われた。



東京第 4 教区・こども会

お楽しみ満載のこども会

東京第 4 教区では毎年恒例の「教区こども会大会」を 12 月 18 日、大岡山支部にて開催した。当日は 90 名が集う中、21 名の子供たちが参加した。

宇佐見光男教区長の開会挨拶の後、「猛獣狩りに行こうよ」や「新聞島ゲーム」などをして遊び、参加した子供たちの緊

張が解れたところで、子供たちの集中力を高めるためにトイレットペーパーの芯を利用した「万華鏡」や「ステンドグラス風写真立て」の工作に取り組んだ。

昼食はバラエティーに富んだお餅と、女性部特製の豚汁でお腹を満たし、午後はお浄めで心を落ち着かせ、古事記を題材にした紙芝居を鑑賞、終わりに登場したサンタクロースとトナカイからクリスマスプレゼントをもらい子供たちは大喜び。翌年の活動につながる行事となった。



北本市より善行表彰



11 月 19 日、多年にわたり多額の寄付をし、市政の進展に貢献したとして解脱会が北本市より表彰された。

表彰式には、本会を代表して田中宏明御霊地局長が列席し、同市文化センターにて表彰状を拝受した。本会は今後も北本市の発展に貢献していく。

熊本復興支援ボランティア

Xmas パーティ盛り上げる

熊本地震の災害復興支援に、地元九州教区や熊本地区が活発に足もみ傾聴活動を行い、本部がそれを支援してきたが、今後は九州教区が自立して活動していくことになった。その最後のイベントとして、足もみ隊の会場となったところ保育園(熊本県益城町)で行われた 12 月 23 日のクリスマス会にて、九州教区が一丸となって炊き出しボランティアを行った。

本部より西功義教育部次長含む 3 名、熊本地区をはじめとする九州教区 65 名、他教区 6 名、また足もみで縁を繋いだ非会員 3 名の合計 77 名のボラン



フリフリチキンの焼き機も制作!



九州教区の真心こもったご汁



ゲームでお菓子を貰う子供たち

ティアが集結。九州教区より、だご汁やシチュー、からあげ、ピラフ、お菓子、飲み物等が振舞われ、本部からはフリフリチキンとフランクフルトを提供。前日から準備を行い、午後 4 時半にクリスマス会がスタート。園児や保護者、職員など、合計約 200 名が集う賑やかなイベントとなった。

パーティーは園児たちの元気な歌の披露や

ゲーム、また千々松副担任部長のバンド演奏、園児のママさん方や OB のダンス等で沸き、最後はサンタと園長からのプレゼントで子供たちの喜びも最高潮となり、午後 8 時に終了した。

ところ保育園のある益城町周辺は殆ど家が被災し、未だ復興は遠い。九州教区では復興支援活動を今後も精力的に続けて行っていく予定。

本会を支えた 3 名の相談役が霊界入りされる



中村 宏相談役

中村宏相談役が、1 月 3 日に霊界入りされた。大正 12 年 3 月 30 日生まれ、享年 93 歳。中村先生は、昭和 56 年に苫小牧豊川

支部を設立、初代支部長として会員の指導育成に尽力されたばかりでなく、59 年に教区担任部長、62 年に教区長として、北海道々南教区の伸展に励まれた。本部においては、60 年に理事、平成 4 年に常任理事と重責を歴任、11 年に相談役に就任された。

剛毅にして豪放磊落の人柄でもって至誠一貫解脱道に精進され、数多くの会員に慕われた。



中山 教一相談役

中山教一相談役が、昨年 12 月 27 日に霊界入りされた。昭和 3 年 1 月 24 日生まれ、享年 88 歳。中山先生は、尊父・照雄先生

が昭和 19 年に設立し、母・雄子先生が受け継いだ神戸中央支部を昭和 60 年 5 月に継承、爾来、31 年間に亘り三代目支部長として会員の教化育成に奔走されたばかりでなく、神戸教区長としても教線拡大に務められた。また本部においては、平成元年に理事、11 年に常任理事、15 年からは相談役の重責を担われ、温厚にして篤実恬淡たる人柄で多くの会員を育てられた。



加藤 昭二相談役

加藤昭二相談役が、1 月 13 日に霊界入りされた。昭和 2 年 4 月 25 日生まれ、享年 89 歳。加藤先生は、戦後、青年部の草創期

において幅広く活躍し、大きな貢献をされ、尊父・英治先生が昭和 12 年に設立された江戸川支部を 63 年に継承、また平成 7 年に東京第 6 教区長に就任された。本部においては、昭和 58 年に本部教務員、平成 4 年に理事、13 年に常任理事の重責を歴任され、15 年に相談役に就任。また、解脱書道会の代表として機関誌「大雁」を中心に活躍され、書道を愛好する多くの会員を指導された。

京都教区・泉山七福神巡り

参詣客を真心から接待



御寺泉涌寺では毎年、祝日の「成人の日」に「泉山七福神巡り」が開催されている。これは泉山塔頭の各寺院に祀られている七福神を参拝した後、その証である「吉兆」をつけた福笹を持って帰り「福」を我が家に呼び込む行事。京都教区では毎年、この行事に合わせ、金剛宝塔前において参詣客に対して天茶などを接待しながら

京都洛央準支部

恒例の餅つきを開催

12 月 25 日、早朝より京都洛央準支部にて餅つきが行われ、子供たちを含め、合計 20 名が集った。当餅つきは、支部座談会の頃から行われており、併せて 11 年目の恒例行事となっている。

幼少の頃から参加している子供たちも成長し、大人顔負けの迫力あるつき方に、周りから感嘆の声が上がった。

鏡餅や小餅の成型も、元和菓子屋の会員の指導のもと年々上手になり、餅の小

布教活動を行っている。

今年も 1 月 9 日、各支部の会員有志 27 名が参詣客を真心で接待した。

この日、雨が降ったり止んだり足元の悪いこともあり例年よりも客足は少な



分けもスムーズに運び、本職顔負けの綺麗なお餅が完成。正月用の鏡餅と小餅で合計 36 キロのもち米をつき、午後 2 時半に終了。終礼後は直会となり、今年も楽しく充実した餅つきができたことに参加者一同喜び合った。

めだったものの、初めて飲む天茶に感激の表情を浮かべる新成人者や、御寺泉涌寺の境内に金剛宝塔が建立された経緯や金剛さまについての説明を真剣に聞く参詣客が多く見られた。

多度津「初泳ぎ」

元旦特番で生中継

香川多度津支部の藤原了支部長が会長を務める多度津竜泳会が毎年、元旦に行う「初泳ぎ」が NHK の元旦特別番組「元気になるお宝百景」で全国放送された。

同行事は、藤原支部長の母校である多度津工業高校初代嶺鍊次郎校長の勸

めで、年頭に体と心を鍛える目的で、大正 12 年に始まり、戦中も途切れることなく続けられている。94 回目となる今回は、現役の水泳部員や OB、女の子や子供を含む町民ら約 90 人が参加した。

当日、穏やかな天候に恵まれた多度津町西浜の多度津港には約 500 名の見物客が見守る中、藤原会長の合図に、ふんどし姿の男たちが寒さを吹き飛ばすように、「セイヤ、セイヤ！」の掛け声とともに気合を入れながら次々と海へ入り、泳ぎを



披露。酒樽を載せた神輿を高々と上げ、威勢よく新春を祝った。またこの日はお囃子や獅子舞、鏡割りが行われ、見物客にお神酒やお雑煮が振舞われた。

平成 29・30 年度 教区役員／教区出講員一覧

(長)＝教区長 (担)＝担任部長 (副)＝副担任部長

教区役員

【北海道道東】

(長) 道林 孝吉
(担) 佐々木秀夫
(副) 桑原 康行
(副) 安久津律子

【北海道道南】

(長) 車 康平
(担) 渡辺 将人
(副) 谷村三枝子
(副) 鈴木 洋子
(副) 天満夕起子
(副) 廣瀬 和幸

【東北第 1】

(長) 菅原 弘樹
(担) 中屋敷もみ子
(担) 長岡 和夫
(副) 相馬 義則
(副) 佐々木栄子
(副) 本間五知生
(副) 佐藤 満

【東北第 2】

(長) 合澤 裕行
(担) 赤井 貞三
(担) 堀江 敏幸
(担) 渡邊 良二
(副) 佐藤 和子
(副) 田中 重一
(副) 佐藤 正一
(副) 柳下 啓子

【新 潟】

(長) 清水 隆善
(担) 高口 昭夫

(副) 恩田 亘
(副) 恩田 信子
(副) 遠山 仁

【群 馬】

(長) 村上美津枝
(担) 荒木 友充
(副) 佐藤 敏子
(副) 佐藤 英男
(副) 中柴 勝祐
(副) 橋爪 幸夫
(副) 樋田 省三
(副) 下田祐紀夫
(副) 割田 祐治

【埼 玉】

(長) 山本 和雄
(担) 山崎 正道
(副) 清水 伸洋
(副) 滝沢 寧
(副) 山本 裕司
(副) 山中 完悟
(副) 清水 吟子
(副) 溝上 智子
(副) 片山 敏夫
(副) 山中 久二
(副) 内田 浩生

【甲 信】

(長) 白木 好雄
(担) 依田 光雄
(担) 宮坂 憲治
(担) 蔵野 勇
(副) 小林 武治
(副) 宮坂 郁夫

(副) 小澤 秀夫
(副) 蔵野 民子

【茨 城】

(長) 根本 博
(担) 中山 一美
(副) 中山美智子
(副) 長井 大実
(副) 初沢 国輝
(副) 荒巻 英栄

【千 葉】

(長) 浅利 親範
(担) 野本 晃市
(副) 月岡 悦子
(副) 田山 朝二

【東京第 1】

(長) 阿曾沼孝允
(担) 三室 和子
(担) 大館 正男
(副) 斎藤 真
(副) 石井 洋子
(副) 松田 弦美
(副) 梅原 久子
(副) 内藤 憲一

【東京第 2】

(長) 原島 正光
(担) 坂崎 康宏
(副) 水野 文子
(副) 中町 恭子
(副) 阿部登喜雄
(副) 小田 耕平
(副) 杉本 龍之

【東京第 3】

(長) 寺嶋 豊
(担) 本嶋 政彦

(担) 石井 好正
(副) 稲子 喜之
(副) 小川 明子
(副) 安本 正己
(副) 吉田建太郎

【東京第 4】

(長) 宇佐見光男
(担) 宮崎 達郎
(担) 田島 嘉久
(副) 濱名 英臣
(副) 平塚 光則
(副) 宇佐見行治
(副) 原 忠邦
(副) 佐藤 知英

【東京第 5】

(長) 市瀬 博貴
(担) 田村 和彦
(副) 中條二三子
(副) 金子 善彦
(副) 浦島双美男
(副) 秋葉 澄恵
(副) 高鹿 庸子
(副) 高島 隆一
(副) 神山 孝行

【東京第 6】

(長) 朝比奈憲一
(担) 大石 邦雄
(担) 加藤 英昭
(副) 深井 惣一
(副) 打越 敬子
(副) 金原 真一
(副) 岡部 靖子

【東京第 7】

(長) 武笠 一男

(担) 田島 知幸
(副) 小野 剛
(副) 小野多恵子
(副) 開原 豊
(副) 井上 莊一
(副) 松原 和仁
(副) 関口美代子
(副) 石川 勲

【神奈川】

(長) 福井 恒明
(担) 徳田 光行
(担) 松橋 悦子
(副) 金井れい子
(副) 磯崎 紀子
(副) 本多 伸一

【静 岡】

(長) 鈴木 隆司
(担) 鈴木 健支
(担) 川島 和人
(副) 齋藤 高德
(副) 伊久美和子
(副) 酒井 玲子
(副) 安藤 礼子
(副) 鈴木 秀幸

【愛 知】

(長) 政年 均
(担) 大羽 啓介
(副) 小池 則行
(副) 竹之内光子
(副) 宮川 典子
(副) 佐藤 和夫

【名古屋第 1】

(長) 樋口 勉
(担) 黒宮 律子

(担) 服部 邦俊
(副) 加藤 真一
(副) 柴山 秀一
(副) 安達 朱美
(副) 小嶋 由久
(副) 松原 儀明

【名古屋第 2】

(長) 梅村 吉男
(担) 原 誠之助
(担) 近藤 紀夫
(副) 日比 清誠
(副) 志村佳代子
(副) 伊藤 功
(副) 伊藤 嘉洋
(副) 近藤貴代子

【北 陸】

(長) 横山 高信
(担) 羽根田富美子
(担) 太田賀津江
(副) 石川 学
(副) 田中 清美
(副) 中町 信也
(副) 北川由記子

【滋 賀】

(長) 太田 豊地
(担) 奥野 里美
(担) 片山 隆男
(副) 今庄 和子
(副) 高島 幸夫
(副) 北野 正彦

【京 都】

(長) 田中 英次
(担) 荒井 昇
(副) 大山 顕

(副) 山口 雅之
(副) 辻井 豊

【大 阪】

(長) 島田 光昭
(担) 永田 秀次
(副) 長谷 浩明
(副) 希代 哲康
(副) 横田 美恵

【和歌山】

(長) 中村 泰明
(担) 松島 敏行
(担) 宮本 貴志
(副) 山本 修平
(副) 津村 圭子

【神 戸】

(長) 西田 義信
(担) 金川 昌弘
(副) 加地 一公
(副) 阪田 和男
(副) 木田 歌子

【兵 庫】

(長) 笹倉 範久
(担) 高橋 廣幸
(担) 西川 龍
(担) 植田 郁代
(副) 橋本 正親
(副) 上山 安博
(副) 吉岡ひろ糸
(副) 辻元 豊
(副) 笹倉 正之
(副) 福浦 喜夫

【中国第 1】

(長) 石原 恵二
(担) 高本 昌則

(副) 高本 晶子
(副) 徳永 睦子
(副) 田村 綱正

【中国第 2】

(長) 瀬尾 正照
(担) 猪子 恭一
(担) 馬屋原 治
(副) 朝倉 壽男
(副) 沖本 義治
(副) 森近 功子
(副) 土井 由基

【四国東】

(長) 中川 朋昌
(担) 若井大三郎
(副) 長船美津子
(副) 杉本 弘美
(副) 桶谷ひろゆき

【四国西】

(長) 重森 政義
(担) 秀野 光彦
(副) 飯尾美喜子
(副) 織田 豪

【九 州】

(長) 若杉 栄彦
(担) 池松 康博
(担) 弘川 清英
(担) 弘中 由治
(副) 千々松勝明
(副) 久島 昭二
(副) 土師 則昭
(副) 宮原眞佐樹
(副) 日野 富美
(副) 縄田 豊治

教区出講員

【北海道道南】

浅野 尚博
熊谷 詔夫
川端 信廣
宮崎 松雄
鈴木 秀男
宇津野 学
矢留 勝則
濱坂 満

【東北第 1】

澁谷 英子
菅原 千鶴

【東北第 2】

松久 幸子

【新 潟】

田中 薫枝
江口美佐子
矢尾板新作
高橋 市彌
中野芳津子
川瀬 弓子
坂井 俊文
平澤 将秀
清水 勇次

【群 馬】

須田 健二

【埼 玉】

蔵田 貞子
菅原 行夫
村津 孝徳
小林 春枝
岡 弘伸

【甲 信】

武井音兵衛
松井 憲司
宮下 雄一
柳澤 誠也

【茨 城】

飯島 力

【東京第 1】

河村 明彦
廣川 剛秀
川崎美岐子
相場 史枝
大橋 忠享
濱田 誠二
橋本 嘉市
森原 節子
松田 道弘
花輪 誠
太田 幸治
山田 二郎
須藤 正

阿曾沼美栄子

【東京第 2】

櫻井 耕三
櫻井 雄二
榎本 勝寿
坂崎 洋祐
清水 貴幸
三浦 周行
佐藤 正隆
岡本 智秀

【東京第 3】

高橋 征雄
小林 輝道
小林 幸広
島元 雅之

【東京第 4】

齋藤 正教
関 淳一郎
岩田 一也
岩永 通子

【東京第 5】

高村 俊克
平本佐知子
釣部 泰嗣
山根 浩補
島田 秀夫
細井 忠彦
今井 康晴
佐藤 保雄

一ノ瀬忠久
稲越 和雄
斎藤 洋子
石川 和敏
土屋 慎一

【東京第 6】

朝比奈太郎
矢部 利秋
西條ひかり
打越 博文
勅使川原滋
石井 康夫
高篠 重由
矢嶋 幸一
宮崎 安章

【東京第 7】

芳垣 隆司
井上 貴由
井上周一郎
大和田宏治
角田 知義
目代 鐵男
白井 恵造

【神奈川】

露木 崇
萩原 洋子
磯崎 昭裕
梅原 順子

【静 岡】

富田 公子
横溝 卓尚
西元 一郎
青野 光男
松永 昌平
岩尾幸次郎
鈴木 利實
鈴木 功児

【愛 知】

岩尾大次郎
蜂須賀文美子
吉田真佐江
藤井 博司
政年 潤司
工藤 幸雄
原 哲夫

【名古屋第 1】

森 育代
柴山 弘二
青木 春彦
杉浦 博司
森 淳二
水野 清
鬼頭美喜子
草場 繁子
三島 義廣
加藤 高幸
中島 茂

竹内 巧二
服部 千尋
松永 悟
立松富士子
近藤 竜弘

【名古屋第 2】

村上 敏幸
加藤 裕治
水崎 操
西尾 和貴
伊藤友光子
水野 久雄
近藤 成美

【北 陸】

大越ともえ
山本まちえ
石橋 清美
中川 徹也
樫田 一幸

【滋 賀】

伊藤 厚雄
川崎 誠
山本 吉彦
小菅 綾子
阿野 茂樹
池田 寿視

【京 都】

河合 久美
中嶋 久一

【大 阪】

中尾 誠
平井 雄二
伊香 利章
田中 角栄

【和歌山】

長谷 利明
門多 裕之
橋本 薫
有田 英三
村田 南夫
稲田 太門

【神 戸】

涌元 宣明
古田 裕幸
阪田 満男
奥田 勝昭
相澤 公子

【兵 庫】

秋田 俊哉
水田 住子
伊藤 周治
藤原 良紀
佐藤 禧子
毛利千世子
野中 厚志

【中国第 1】

直原 三次
瀬戸 秀毅

田中 均
山下 卓治
神野 一近

【中国第 2】

寺田 紀子
小野 治子
沖本 陽子
坂田 吉弘
三木 省三
吉見 敏治
矢野 博文
横山 哲郎
小田原正徳
高谷 英昭

【四国東】

細川 潤一
橋本 勝弘
金谷恵子

【九 州】

松隈まさの
山下 喜丸
北島鯉紀矢
齊之平 勇
花田 功夫
花田 尋美

第13回 教区選抜実践作文コンクール最優秀3作品



岡野前理事長から表彰を受ける受賞者のみなさん

昨年の 11 月 28 日、第 136 回解脱金剛御生誕祭において、「お手伝い」をテーマとした第 13 回教区選抜実践作文コンクールの表彰式が行われ、当日は最優秀賞の作品が朗読された。

●最優秀賞

高木 陽菜 (雑司ヶ谷)
一柳 春名 (名古屋豊国)
石川萌々叶 (福井加茂河原)

●優秀賞

清水こころ (小山銀座)
宮島 悠希 (御徒町)
尾崎凛太郎 (兵庫安積)

●佳作

鈴木 菜月 (名古屋大幸)
田中 悠理 (京都洛央・準)

川口 凜子 (荒 川)

●努力賞

廣川 徳 (南新宿)
井上 美空 (川崎新城)
服部 有里 (名古屋仲田)
野田 佑樹 (京都東山)
小林 歩葉 (神戸六甲)
岡嶋 芽生 (兵庫滝野)
平 愛唯梨 (佐賀鳥栖)
佐藤 功基 (日野台)
吉成佳乃子 (調 布)

井上 伊代 (川崎新城)
征矢 真緒 (小田原栄町)
中村 永愛 (静岡相良)
服部 莉子 (名古屋仲田)
柳崎 秀哉 (南新宿)
吉成 浩一 (調 布)
川口 心優 (静岡相良)
水谷 葵 (名古屋堀田)
鈴木 陽菜 (名古屋大幸)
星野 愛実 (大阪玉造)
平 羽琉魅 (佐賀鳥栖)



かそくをおもってお手つだい

東京第 6 教区 雑司ヶ谷支部
小学 2 年 高木 陽菜

わたしには、6 さいのおとうとと、こ年の 10 がつに 2 さいになるもうとがいます。おとうさんは、わたしたちかそくのためによるおそくまで、会社でがんばっておしごとをしていてわたしがねている時にかえってきます。「おかあさんは大へんだなあ。」とおもうので、わたしは、お手つだいをします。

いろいろなお手つだいをしますが、中でもわたしが好きなお手つだいは、いもうとのおせわと、おりのりのお手つだいをすることです。

いもうとのおせわは、小さいものを口に入れないように見たり、赤ちゃんのおもちやで、いもうとをわらわせたりします。いもうとはかわいいし、わらうとわたしもうれしいです。

おりのりのお手つだいは、さい近はおにぎりをじ分で作ったり、ピーマンのたねをとってほうちょうで切りました。

おかあさんがつくっているのを、たまに

見て「おもしろそうだな。」とおもってやってみると、たのしいので、おりょうりはすきです。たのまれてする時もあれば、じ分で気づいてお手つだいをする時もあります。

たのまれてする時は、「おかあさんが大へんだからすこしでもお手つだいをしたらたすかるかな。」とおもってします。

じ分で気づいてお手つだいをするときは、「あとでほめてくれるかな。」とおもうのでお手つだいをします。

おかあさんにほめてもらえた時は、とてもうれしいです。これからも、おかあさんによるこぼせたいです。



お手伝いの大切さ

名古屋第 2 教区 名古屋豊国支部
小学 4 年 一柳 春名

私は、今年初めて一人でおばあちゃんの家に行きました。

おばあちゃんの家に着くと、おばあちゃんがあれやれこれやれたのんでくるので、私はいいやお手伝いをしました。でも、お手伝いをやると、いろいろなお手伝いの大切さが分かってきました。

まず、お手伝いは勉強になります。夕飯にカレーとサラダを作る時には、まず、手

を切らない食べ物の切り方、にこみ具合、ルーの入れるタイミングなどと沢山のことが勉強になります。

次に、お手伝いはみんながうれしくなります。お母さんたちは、みんなの家事で、とてもたいへんで、時には、夜までつづく時もあるのか、いつぬるのか、わからない時が多いです。

なので、おてつだいをすれば、お母さんたちも、少しは休けいをとれるようになるので、私はがんばりたいです。

また、こんなことも分かります。それは、お手伝いをしていると、お母さんたちがどれだけたいへんか分かるからです。

お手伝いをしていると、お母さんたちのたいへんな所が見えてきます。これを毎日やっていると思うと、お母さんを手つだわなきゃとも思えます。

このようにお手伝いは、とても大切です。ですが、お手伝いでは、注意しなければならぬ所もあります。それは、うまくお手伝いをしないと、お母さんたちのじゃまになってしまうからです。

お手伝いは、助かる事もあれば、じゃまになってしまうこともあるので、早く、うまくできるようになりたいです。

このように、お手伝いは、とても大切なことなんだ、と気がつきました。



いっぱいある、お手伝い

北陸教区 福井加茂河原支部
小学 5 年 石川 萌々叶

私は、お手伝いが、大好きです。どんな所が好きかという人の役に立っていると嬉しいからです。

いつも、私はいろんなお手伝いをしています。例えば、休みの日にはあらい物や、ろう下そうじをしています。あらい物は、量がいっぱいびっくりしました。こんなにいつもお母さんが、大変なことを知りました。あらい物のやり方は、よごれを取り、きれいにせっけんやよごれを取ってきれにするお手伝いです。ろう下そうじは、す

みっこにいっぱいゴミがたまっているので、すみっこをていねいにゴミを取り、ふいてきれいにしてお手伝いです。あらい物はきれいになると、これからも使えるなと思います。ろう下そうじは、ゴミがなくなると、スッキリしてとても気持ちいいなと思います。

他には、ふだんでも出来るお手伝いがあります。例えば、くつの整とんです。学校から帰ってきてからすぐ出来ます。くつの整とんをすると、くつがはきやすくなります。くつの整とんは、ふだんはくようなくつからならべていきます。他には、2 つあります。

1 つ目は、自分のせんとく物をたたんで、そのままかたづけるお手伝いです。このお

手伝いで、わかったことは、たたみかたです。最初は、上手くいかなかったけど最後の方は、上手にできたのでよかったです。

2 つ目は、妹のお世話です。どんなお手伝いかというと、妹が、きげんが悪いときに遊んであげるお手伝いです。なぜ、こんなにお手伝いが、多いかというと家族が多いから多いんです。お母さんがご飯をつくっている時に、妹が、ぐずるのでよく遊んであげています。だから、私もお手伝いをしたいなと思うからです。

これからは、もっとお手伝いをふやしていきたいなと思いました。今まで、やってきたお手伝いをこれからもがんばってやっていきたいです。お料理が出来るようになったら、お料理のお手伝いをしたいです。

平成 29 年度 研修スケジュール

立教 90 年を来年にひかえ、本部布教活動方針に基づき布教と学びの土台づくりをすべく、各種研修を行います。

各支部の充実と茶話会づくりに向け、み教えの学びを深めて参りましょう。



【詳細・お問い合わせ】 解脫会教育部・修法部

TEL03-3353-3667 FAX03-3353-3708

仲介者研修は 03-3353-3706 まで

◎研修中の連絡先 (御霊地開催の研修時)

TEL048-592-7403 FAX048-593-0553

仲介者研修は 048-591-2526 まで

3月 青年コース

御霊地・解脫研修センター

21日(火) 10時
～ 26日(日) 14時半

- 費用 22,000 円 ●定員 32 名
- 参加対象 満 16 歳～満 25 歳 (4 月から高校生になる人も可)
- 締め切り 2 月 26 日 (※ 詳細は解脫第 1650 号)



み教えの基本を中心におき、朝夕の勤行・御霊地の尊さ・金剛さまについて学びを深めます。研修後は学んだことを実生活に活かし、法友と共に青年部活動に取り組み、国家社会に役立つ青年の育成を目指します。



- 申込 参加希望の方は所属支部よりお申し込みください。
- 申込書 各支部に送られる「本部通信」に添付されていますので必要事項を記入の上、お申し込みください。
- ※ 申込書は下記のアドレスからもダウンロードできます。
<http://g-training.wix.com/continue>
- ※尚、ご不明な点は、以下のアドレスに所属支部と氏名を書き添えてメールでお問い合わせください。
g-training@gedatsu.or.jp

5月 仲介者養成コース

御霊地・解脫研修センター

27日(土) ～ 28日(日)

「修法シート」に基づいた仲介の研修を行います。支部に貢献できる人を目指します。

- 費用 10,000 円
- 定員 60 名
- 参加対象 支部長及び支部長が認めた会員
- 締め切り 4 月 28 日

6月 ビューティ&ヘルスコース

御霊地・解脫研修センター

17日(土) ～ 18日(日)

みさと「美人になる法」を学び、爽やかな気持ちで毎日を送り、自分らしいかっこいい生き方のできる人になることを目指します。

- 費用 10,000 円
- 定員 40 名
- 参加対象 どなたでも (法縁者も可)
- 締め切り 5 月 18 日

7月 九州1日コース サンメッセ鳥栖

2日(日)

金剛さまのご精神を今一度深く感じ取り、生きがいある人生を歩むべく、時代に生きる学びを進めましょう。

- 費用 3,000 円
- 定員 60 名
- 参加対象 一般会員、支部幹事
- 締め切り 6 月 15 日

7月 御霊地勤労奉仕 御霊地

① 7月6日(木)～8日(土) ② 8月3日(木)～5日(土)
③ 9月7日(木)～9日(土) ④ 11月23日(木)～25日(土)

木～土の各3日間、尊い御霊地の空気にふれながらご奉仕にお使いただけます。体のメンテナンスについても学べます。

- 費用 5,000 円
- 定員 10 名程度
- 参加対象 どなたでも
- 締め切り 本部通信にて

7月 仲介者養成コース

御霊地・解脫研修センター

29日(土) ～ 30日(日)

「修法シート」に基づいた仲介の研修を行います。支部に貢献できる人を目指します。

- 費用 10,000 円
- 定員 60 名
- 参加対象 支部長及び支部長が認めた会員
- 締め切り 6 月 30 日

8月 ジュニアwithコース

御霊地・解脫研修センター

18日(土) ～ 20日(日)

心のふるさと御霊地で、夏に相応しいプログラムのもと、仲間と協力し、たくましく生きる力を育みます。

- 費用 12,000 円
- 定員 40 名
- 参加対象 小中学生、青年コース参加経験者等
- 締め切り 7 月 20 日

9月 仲介者養成コース

御霊地・解脫研修センター

2日(土) ～ 3日(日)

「修法シート」に基づいた仲介の研修を行います。支部に貢献できる人を目指します。

- 費用 10,000 円
- 定員 60 名
- 参加対象 支部長及び支部長が認めた会員
- 締め切り 8 月 3 日

10月 第154回 健康学園コース

御霊地・解脫研修センター

28日(土) ～ 29日(日)

生命への感謝と報恩の精神を發揮して、各健康指導法を習得し、自他の健康増進と地域社会に貢献できるリーダーを目指します。

- 費用 10,000 円
- 定員 60 名
- 参加対象 どなたでも (法縁者も可)
- 締め切り 9 月 29 日